

## 第4学年 国語科学習指導案

児童 4年1組 男子15名 女子16名  
指導者 佐々木 真子

- 1 単元名           メディアの説明の工夫を見つけよう
- 2 学習材名  
中心学習材 「アップとルーズで伝える」(光村図書4年下)  
補助学習材 朝日小学生新聞 毎日小学生新聞 岩手日報子どもニュース
- 3 単元を貫く言語活動とその特徴

写真と文章を対応させながら読み、映像を用いたメディアの説明のしかたの工夫について考え、まとめること

本単元を貫く言語活動として、「写真と文章を対応させながら読み、映像を用いたメディアの説明のしかたの工夫について考え、まとめる。」を位置付けた。写真と文章を対応させながら読むことは、普段何気なく目にしているメディアの情報を、文章を根拠にしながら正確に受け取ることにつながる。また、映像を用いた説明のしかたの工夫について考えることは、それぞれのメディアが目的をもって映像を効果的に使い説明していることに気付くことにつながり、自分が写真などを用いて説明する際に生きて働く力となる。この言語活動は、「目的に応じて、中心となる語や文に着目して段落相互の関係をとらえたり、文章と写真を照応させたりしながら、文章を読む」(C読むことイ)を実現するの にふさわしい言語活動であると考えた。

### 4 単元について

#### (1) 児童について

児童は、3年生の「すがたをかえる大豆」の学習では、中心となる語や文をとらえながら段落相互の関係を考え文章を読み、分かりやすい説明の仕方工夫として、事例の挙げ方について学んだ。また、「大きな力を出す」「動いて、考えて、また動く」の学習では、事実と解説の関係をとらえながら読み、筆者の考えの根拠となっている事例をリーフレットにまとめる学習を行った。これらの学習を通して、段落内に書かれていることの中心をとらえながら読む力や段落相互の関係を考えながら読む力を身に付けてきている。しかし、写真や図と文章を対応させて読む学習は「すがたをかえる大豆」「動いて、考えて、また動く」でも行ってきているが、筆者が写真や図を使った目的やその効果について考えることは行ってきていない。

本単元で、メディアの映像や写真の使い方と送り手の目的を考えることで、映像や写真を効果的に使った説明のよさに気付かせ、次単元の「『仕事リーフレット』を作ろう」でも、写真を効果的に使った説明ができるようにしていきたい。

#### (2) 指導について

中心学習材「アップとルーズで伝える」は、テレビの映像技法アップとルーズの使われ方を述べ、テレビや新聞を通して届けられる映像や写真が、送り手の意図や目的によって取捨選択されたものであることを説明している。普段テレビの映像を通して様々な情報を得ている子どもたちにとって、興味深い内容であると考えられる。教材の中で、4枚の写真が使われており、写真から読み取れることが文章で詳しく描写されており、写真と文章を対応させた説明の工夫を学ぶことができる。また、アップとルーズの違いを説明する段落が対比の関係にあることで、対比を使った説明の工夫について学ぶことができる。今後、自らの知識や世界観を形成するにあたって、メディアからの影響を大いに受けるであろう子どもたちにとって、情報を送る側の資料選択の意図や効果などを考えることを通し、情報の価値を自分自身で判断していく態度を育てることのできる学習材である。

単元を通して、次の三つを大切にしていきたい。

一つ目は、「筆者の説明の工夫について考えること」である。写真から読み取れることが文章で描写されていることに着目させることで、写真と文章を対応させて説明する工夫についてとらえさせる。

また、アップとルーズが対比して述べられていることをとらえることを通し、アップとルーズで説明する際のポイントを学ぶことができるようにしたい。

二つ目は、「メディアの送り手の目的を考えること」である。教材文から、テレビによるアップとルーズを使った映像技法には、送り手の目的があることを学ぶことができる。「広げる」段階で、実際の新聞の写真のアップとルーズの使われ方と何を伝えたいかを考えることを通し、送り手が目的をもって写真を効果的に使っていることをとらえさせたい。

三つ目は、「次単元『学校の仕事リーフレットを作ろう』に本単元で学んだことが生かせるようにすること」である。次単元「学校の仕事リーフレット」では、学校でみんなのために仕事をしている人を写真と文章で説明する。写真と文章を対応させて書くことや、なぜ、その写真を選んだのか、自分の目的を大切にしながら作成していく。そのために、本単元の導入で、次単元で「学校の仕事リーフレット」を作ることを紹介し、目的意識をもって本単元での説明の工夫を学ぶことができるようにしたい。

本時は、アップとルーズのちがいを考え、アップとルーズで説明する際のポイントをとらえる時間である。対比の関係で説明されているアップとルーズのそれぞれ伝えられること、伝えられないことをとらえ、アップならではの表現方法、ルーズならではの表現方法があることに気付かせていきたい。

## 5 本単元の指導目標

- 写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。（関心・意欲・態度）
- 目的に応じて、中心となる語や文に着目し、段落相互の関係をとらえたり、文章と写真を対応させたりしながら、文章を読むことができる。（読むことイ）
- 文の中での指示語や接続語の役割を理解することができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（ク））

## 6 単元の評価規準

	国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語文化についての知識・理解・技能
おおむね達成できる状況	写真と文章を対応させて、説明的文章に興味をもって読もうとしている。	中心となる語や文に着目しながら、写真と本文の対応関係を読み取っている。	指示語や接続語が文と文とのつながりに果たす役割を理解している。

## 7 単元の学習計画及び評価計画（読むこと 9時間）

段階	時間	学習活動・学習内容	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
見通す	1	1 いろいろなメディアがあることに気付くとともに、新聞写真から、送り手の意図を考えることを通し、単元のめあて、言語活動をつかみ、学習計画を立てる。	○テレビや新聞、雑誌などを紹介し、私たちの生活に必要な情報を様々なメディアが送っていることに気付かせる。 ○子どもにとって身近な内容の同じ報道内容を取り上げた複数の新聞写真を見て、記事の送り手が伝えたい目的や意図があることに気付くようにする。	関—いろいろなメディアがあることに気付く、メディアの説明のしかたに関心をもっている。（発言）
		メディアの説明の工夫を見つけよう。		
	2	2 教材文を読み、写真と形式段落を対応させて、文章構成を大まかにとらえる。 ○文章の組み立てを考	○写真と形式段落を対応させたり、問いの段落やそれに対する答えの段落を確かめることにより、段落相互の関係に気付かせる。	関—説明のしかたに興味をもち、進んで説明文を読もうとしている。（発言、シート）

深 め る	3	3 写真と文章の対応を考えながら読む。 ○写真と文章を対応させた説明のしかたの効果を考えること	○文と写真を関係付け、叙述に基づきながら、説明を対応させて読み取るようにする。	<p>読 一文章全体の構成と段落相互の関係を読み取っている。 (発言, シート)</p> <p>読 一写真と文章を叙述に基づきながら、関係づけている。 (発言, シート)</p> <p>読 一中心となる語句に着目しながら、説明のしかたを読み取っている。(発言, シート)</p> <p>言 一文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続後の役割を理解している。 (発言, シート)</p>
	4 本 時	4 写真と文章の対応を考えながらアップとルーズのちがいを考える。 ○対比の説明のしかたの効果を考えること	○対比関係にある第4段落と第5段落の文章を比較させることを通しアップとルーズの伝えられること伝えられないことをまとめさせる。 ○写真と文章を対応させることを通して、アップとルーズを使った説明の違いを考えることができるようにする。	<p>言 一文と文との意味のつながりに果たす指示語や接続後の役割を理解している。 (発言, シート)</p>
	5	5 テレビと新聞の特徴を考えながら読む。 ○テレビと新聞の相違点や共通点を考えること	○テレビと新聞との比較により、それぞれのメディアでのアップとルーズの使われ方について考えることができるようにする。	<p>読 一写真と文とを対応させて新聞を読み、送り手の意図について、まとめている。 (発言, シート)</p>
	6	6 実際の新聞記事を提示し、全体で送り手の意図を話し合う。 ○実際の新聞のアップとルーズの使われ方をとらえること	○全体で一つの新聞記事を見て、写真と文章を対応させて読み、アップとルーズの使われ方や送り手の目的を話し合うことができるようにする。	
	7	7 新聞を資料に、写真の使われ方や文章との対応を調べ、送り手の立場や意図について自分の考えをもつ。 ○実際の生活でのアップとルーズの生かされ方を考えること	○読み取ったことを生かし、一人一人が実際の新聞の写真と文章からアップとルーズの使われ方を調べ、写真と文章から分かることを考える。	<p>関 一選んだ新聞から送り手の意図を考えようとしている。</p>
	8	8 考えたことを交流する。 ○写真を使った目的について考える。	○写真や文章から分かることを交流する中で、写真を用いた説明のよさや送り手が目的をもって写真を効果的に使って説明していることに気付くようにする。	<p>読 一新聞の写真と文章をもとに、送り手の目的を考えている。 (発言, シート)</p>
9	9 単元のまとめする ○メディアの説明の工夫から学んだことを考えること	○本単元での説明のしかたのよさを考えることで、次単元「『仕事リーフレット』を作ろう」や実生活で自分が表現していく時に役立つようにする。	<p>読 一メディアの説明の工夫について学んだことをまとめている。 (発言, シート)</p>	

8 本時の学習（4／9）

(1) 目標 アップとルーズの違いを考え、筆者の説明のしかたの工夫について考えることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	学 習 内 容 (◎主発問)	指導と評価のための工夫
導 入	1 前時の学習を想起する。 2 本時の学習課題、学習の流れを確認する。	○第3段落の問いに対する答えにあたるアップとルーズのちがいをとらえることを通し、筆者の説明の工夫を考えると目的意識をもつこと	・第3段落の問いに対する答えがある第4段落と第5段落を読み取ることを確認する。
3	アップとルーズのちがいを読み取り、中谷さんの説明のしかたの工夫を見つけよう。		
展	4 アップとルーズのそれぞれの伝えられることと伝えられないことをまとめる。 (1) 自分でまとめる  (2) 全体で確かめる。	○ワークシートにアップとルーズのちがいをまとめること ・伝えられること アップ…細かい部分がよく分かる ・両手を広げて ・口を大きく開けて ・全身で喜びを表し ルーズ…広い範囲の様子がよく分かる ・あちこちで ・選手とおうえんした人たち ・伝えられないこと アップ…うつされていない多くの部分のことがよく分からない ルーズ…各選手の顔つきや、それらから感じられる気持ちまでは、分からない	・文末の「分かります。」す。「分かりません。」に着目できるようにする。 ・「しかし」「でも」に着目し、それぞれの言葉の前に伝えられること、後に伝えられないことが書いてあることを確かめる。 ・細かい部分、広い範囲の様子のことを文章でどう書いているか確かめる。
	3 第4段落と第5段落を比べて読み、筆者の説明のしかたの工夫を考える。 (1) 第4段落と第5段落を比べて読み、中谷さんの書き方で気付いたことを出し合う。  (2) 中谷さんの説明のしかたの工夫を考える。	○説明のしかたの似ているところに着目すること ・写真への着目を促す導入がある ・写真内容の説明がある。 ・写真から分かることが書いてある。 ・写真から分からないことが書いてある。 ・分かることと分からないことが「でも」、「しかし」でつないでいる。	・3段落と4段落を比較し、キーワードや接続後に着目し、二つの段落が同じ構成で書かれていることに気付かせる。 ・同じ構成で書かれていることで、違いが分かりやすくなっていることに気付かせる。
	(3) 中谷さんの説明のしかたの工夫を全体で話し合う。	○中谷さんの説明のしかたの工夫をまとめること ◎ 第4段落と第5段落を読んで、中谷さんの説明のしかたの工夫を考えましょう。	< 評価規準 > 対比による説明のしかたの分かりやすさについて考えている。 < 発言・シート >

開          35		<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような書き方で説明することで、違いを分かりやすくしています。</li> <li>・二つのことを比べて、違いをはっきりさせています。</li> <li>・よびかけの言葉で注目させています。</li> <li>・写真で分かることを文章で説明しているの、分かりやすいです。</li> <li>・「でも」や「しかし」の言葉で伝えられることと伝えられないことを書いてあるので、分かりやすかったです。</li> </ul> <p>○対比という言葉を知ること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふたつのものをくらべて、ちがいをはっきりさせることを対比という</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見つけられない児童には、二つの段落を比べて気付いたこと から考えさせる。</li> <li>○友達との交流で、自分の考えが深まった り、見直したりする ことができるように する。</li> <li>・同じ段落内でも逆接の接続詞を使うこと で、伝えられること と伝えられないこと が対比関係にあるこ とに気付かせる。</li> </ul>
終 末  7	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>7 次時の学習を確認する。</p>	<p>○本時のねらいにそって、振り返ること</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アップとルーズの違いが分かったかと筆者の説明の工夫が分 かったかの2点につ いて振り返ることが できるようにする。</li> </ul>

(3) 板書計画

<p>四 ふり返りをする。</p> <p>☆二つのことをくらべてちがいをはっきりさせること→対比(たいひ)</p>	<p>二 中谷さんの説明の工夫を考える(個人→全体)</p> <p>①第四段落と第五段落をくらべて読み、気づいたこと</p> <p>○同じような書き方をしている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「う」を見てみましょう」と写真を見るようにさそっている。</li> <li>・写真の説明がある。</li> <li>・写真から分かることが書いてある。</li> <li>・「しかし」「でも」というつなぎ言葉がある。</li> <li>・写真では分からないことが書いてある。</li> </ul> <p>②中谷さんの説明の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じような文章の書き方で説明することで、アップとルーズのちがいが分かりやすい。</li> <li>・「でも」や「しかし」の言葉でつないであることで、伝えられることと伝えられないこと がはっきり分かる。</li> <li>・写真で分かることを文章で説明している。</li> <li>・さそうような言葉で注目させている。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1066 1140 1257 1545"> <p>第四段落</p> <p>写真 本文</p> </td> <td data-bbox="1066 1545 1396 1951"> <p>第五段落</p> <p>写真 本文</p> </td> </tr> </table> <p>メディアの説明の工夫を見つけよう 「アップとルーズで伝える」 アップとルーズのちがいを読み取り、中谷さんの説明のしかたの工夫を見つけよう。</p> <p>中谷 日出</p>	<p>第四段落</p> <p>写真 本文</p>	<p>第五段落</p> <p>写真 本文</p>
<p>第四段落</p> <p>写真 本文</p>	<p>第五段落</p> <p>写真 本文</p>			